

図書室通信

図書室

社会教育センター図書室

☎28・5449

休館

年末年始のため、12月29日(月)から1月5日(月)まで、休館となります。
また資料整理のため、1月31日(土)も、図書室をお休みします。

ゆめっ子のおはなし会

ボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。ぜひ親子そろってご参加ください。

- ▶とき 1月17日(土) 13:30～
- ▶ところ 社会教育センター幼児遊戯室
- ▶対象 小学校低学年、幼児

絵本の森

ボランティアグループによる大型紙芝居や絵本の読み聞かせを行います。ぜひ親子そろってご参加ください。

- ▶とき 2月7日(土) 10:30～
- ▶ところ 社会教育センター幼児遊戯室
- ▶対象 小学校低学年、幼児

新刊

児童書

ハグのうた

おーなり由子 作
(偕成社)



泣いている子どもをだきしめるお母さんのハグ。お見舞いにきた妹が入院しているお兄ちゃんをハグ。おばあさんは60年ぶりにあった友だちとハグ…。ハグをしよう。ところどころに虹をかけよう。

一般書

あの冬の流星

朝倉 宏景 著
(講談社)



昭和気質な父と彼を支える母、反抗期の亜沙美、サッカー少年の竜星の4人で暮らす佐竹家。ある日、竜星の余命は半年だと宣告される。告知すべきか、否か。衝突し、バラバラになりながらも選んだ「家族の答え」とは-。

一般書

緑十字のエース

石田 夏穂 著
(双葉社)



元エリートの浜地は、中堅ゼネコンの契約社員となり、建設工事現場の安全衛生責任者を任される。浜地の教育担当となった松本は、度を越えた厳しさで安全指導をする男で…。

一般書

白露

今野 敏 著
(幻冬舎)



世田谷区の工事現場で刺殺体を発見した、南アジア国籍の男性。インターネットで写真や住所が晒され、犯人だと断定して死刑を求める声まで上がり…。刑事・樋口は真実を掴むことができるのか？

編集後記

あけましておめでとーございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。2026年の干支は丙午(ひのえうま)です。丙午「燃え盛る炎のように、大きなエネルギーを持って物事を成し遂げる」力強い年回りと言われていきます。さて、昨年12月には、FDA様のご協力により「航空館boon」がリニューアルオープンいたしました。実際の航空機部品の展示など、以前にも増して魅力的な空間となっています。

豊山町は、町の約3分の1が空港関連施設が占めている、「ヒコキのまち」です。町では「なごや航空文化フェスタ」や「空の日フェスタ」といった飛行機や空港関連のイベントが多く開催されており、飛行機や空港が身近に感じられる環境にあります。空港は、単なる交通拠点ではなく、この町の文化や産業の象徴であり、未来への窓口です。本年が町の子どもたち1人ひとりととって、この丙午の年にふさわしく、空を飛ぶ飛行機のように、夢に向かって力強く、大きく羽ばたく一年となることを心より願っています。